

戦略2 幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける

計画期間 令和6年度～令和10年度

主管部局 健康福祉部 関係部局 企画政策部

【戦略実現に向けた施策の方向性】

- 市民一人ひとりの健康意識を高め、健康診査・がん検診等の受診率の向上や、食生活・運動習慣の改善などを通じて、健康寿命の延伸に取り組みます。
- 一人ひとりの生涯やライフステージに応じた健康づくりを推進します。
- 江別版「生涯活躍のまち構想」に基づき、多様な主体が生涯にわたって安心して生活できる共生のまちづくりをより一層推進します。

【戦略を構成する具体的施策の事業費推移】

名 称	決算額									
	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
(1) 健康増進活動の推進	9,301	千円		千円		千円		千円		千円
(2) 疾病予防・重症化予防の促進	165,490	千円		千円		千円		千円		千円
(3) 多様性を認め合う社会意識の醸成	6,875	千円		千円		千円		千円		千円
計	181,666	千円		千円		千円		千円		千円

戦略実現に向けての数値目標**◆数値目標(1) 健康だと思える市民割合(単位:%)**

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目 標
78.4	81.7					85.0

◆数値目標(2) 健康を維持するために心掛けていることがある市民割合(単位:%)

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目 標
89.2	87.0					92.0

◆数値目標(3) 日頃の生活の中で地域の人との交流がある市民割合(単位:%)

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目 標
20.9	21.6					40.0

具体的施策 (1) 健康増進活動の推進

健康寿命を延ばし、いつまでも健康で元気なまちを目指して、全ての人が健康的な生活を送ることができるよう、個人のみならず、地域や職域などと連携し、「こころ」と「からだ」の健康づくりを行うための普及活動や環境づくりを推進します。

◆重要業績評価指標 (KPI) 健康づくり事業への参加者数 (単位: 人)

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目 標
4,182	5,628					10,000

■成果動向 (令和6年度の評価)

令和6年度は「えべつ市民健康づくりプラン」「江別市自殺対策計画」に基づき各種取組を推進しました。子どもの頃からの望ましい生活習慣の確立に向け、小中学校における喫煙予防や生活習慣病予防教室の開催を継続したほか、健康づくり推進員等による地域に根差した健康づくり事業の開催、ゲートキーパー養成講座や心の健康づくり講演会など、こころと体の健康づくり活動を推進しました。このことにより、健康づくり事業の参加者数は増加傾向にあります。

市民の健康づくりへの意識向上を図るため、イベント「健康フェスタ」を開催しました。また、野菜摂取の推進に向け、関係機関と連携して啓発活動を実施しました。

■改善案 (次年度へ向けた展開・課題・推進の方向性)

コロナに対する感染対策のため集団による健康づくり事業の実施を縮小せざるを得ない状況から、従前と同様の体制で実施できるようになりました。参加者は増加しているものの40～50歳代の参加は依然として少なく、高齢者においては高齢者クラブなどの集まる機会が少なくなっているなどの課題もあり、更なる参加者数増加に向けた工夫が必要と考えています。働いている方も含めた健康づくりの啓発に向け、テーマや周知について検討してまいります。

野菜摂取の推進に向けて、無関心層も含めた幅広い層の行動変容を促す手法で啓発活動を行います。

<課題>

- 子どもの頃から正しい生活習慣を身に付ける
- 自らの健康について関心を持つ市民の増加
- 運動などの健康づくりに取り組む市民の増加
- 食生活の改善に取り組む市民の増加
- 市民に不足している野菜摂取量の増加

<取組の概要>

- ・小学校での「喫煙予防教室」や、中学校での「生活習慣病予防教室」を開催
- ・E-リズムの普及啓発と市民への定着化を図る
- ・地域健康づくり推進員や食生活改善推進員等と連携協力し、地域の健康づくり活動を推進
- ・ゲートキーパー養成講座を開催するなど、心の健康づくりを推進
- ・野菜摂取をはじめとした、食からの健康づくりを推進
- ・健康づくりに関する啓発イベントの開催

事務事業	成果指標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備 考
健康づくり推進事業	こころや体の健康づくりに関する講座、教育、相談の参加人数	5,628 人			
	地域健康づくり推進員事業参加人数	943 人			
	事業費	8,154 千円	千円	千円	
健康都市推進事業	健康を維持するために心掛けていることがある市民割合	87.0 %			
	事業費	1,147 千円	千円	千円	

具体的施策 (2) 疾病予防・重症化予防の促進

食生活の改善や運動習慣の定着などにより、生活習慣病を予防するとともに、健康診査やがん検診等の推進により、疾病の早期発見や早期治療に結び付け、合併症や重症化の予防に努めます。また、先進的な予防医療の視点から健康増進の可能性を探ります。

◆重要業績評価指標 (KPI) 過去1年間にがん検診を受けた市民割合 (単位: %)

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標
36.9	35.9					45.0

■成果動向 (令和6年度の評価)

各種健(検)診では、健(検)診機会の確保に努め、健(検)診の必要性や受診方法等をお知らせする「江別けんしんだより」やホームページを見直し、わかりやすい周知に努めました。また、健(検)診受診後に自らの健康状態を把握し、適切な医療と正しい生活習慣の実践に活かすことも重要であることから、特定保健指導等の訪問による保健指導を強化し実施しました。

一般介護予防事業については、コロナ禍で活動を自粛していた通いの場の活動が再開傾向にあり、講話の受講人数の増加につながりました。

高齢者保健・介護予防一体的実施事業では、健診未受診等の健康状態不明者の状況把握を行い、必要に応じ医療や介護等のサービスとの連携を行いました。

■改善案 (次年度へ向けた展開・課題・推進の方向性)

健(検)診受診率の向上に向け、周知媒体の見直し、未受診者への受診勧奨を継続することで少しずつ効果がみられていますが、国や道と比較すると受診率が低いことが課題です。未受診理由などの把握や、継続受診者の増加に向けた受診傾向の分析などにより、受診しやすい環境整備に取り組んで参ります。

新たな通いの場の立ち上げや活動再開を支援することで、介護予防出前講話等の受講者数増加につなげ、介護予防の知識を広めます。

<課題>

- 特定健診受診率・特定保健指導利用率の向上
- がん検診受診率の向上
- 運動や社会参加による介護予防の推進

<取組の概要>

- ・節目年齢受診無料等のインセンティブの提供や、電話・訪問等による受診勧奨を実施
- ・健(検)診申込窓口の一元化、WEB予約の導入による受診しやすい環境の整備
- ・住民が主体的に集まる通いの場を活用した介護予防・疾病予防講話の実施
- ・高齢者の保健と介護予防を一体的に実施

事務事業	成果指標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
成人検診推進事業	がん検診平均受診率	13.7 %			
	事業費	86,004 千円	千円	千円	
特定健康診査等事業	特定健診受診率	28.9 %			
	特定保健指導利用率	44.2 %			
	事業費	67,986 千円	千円	千円	
一般介護予防事業	介護予防出前講話の受講人数	1,105 人			
	通いの場等での専門職講話の受講人数	153 人			
	事業費	4,806 千円	千円	千円	
高齢者保健・介護予防一体的実施事業	専門職派遣による健康教育・相談延べ人数	655 人			
	重症化予防等の個別支援実施人数	351 人			
	事業費	6,694 千円	千円	千円	

具体的施策 (3) 多様性を認め合う社会意識の醸成

性別、年齢、国籍、文化の違い、障がいの有無などに関わらず、多様な主体が交流し、誰もが自分らしく、いきいきと暮らすことができる、共生のまちづくりを進めます。

◆重要業績評価指標 (KPI) 性別や年齢、国籍などが異なる人への「壁」をなくすべきだと思う市民割合 (単位: %)

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標
79.7	70.2					85.0

■成果動向 (令和6年度の評価)

江別版「生涯活躍のまち」構想に基づき、年齢や障がいの有無に関わらず、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる「共生のまち」を目指し、地域や大学等と連携した取組を進めました。

■改善案 (次年度へ向けた展開・課題・推進の方向性)

江別版「生涯活躍のまち」構想の実現に向け、拠点地域「ココルクえべつ」を中心に、地域や大学等と連携した取組等を進め、多様な主体が交流することなどにより生涯にわたって安心して生活できる共生のまちづくりを推進します。

<課題>

- 性別や年齢、国籍、文化の違い、障がいの有無などの多様性を認め合う社会意識の醸成
- 生涯活躍のまちの認知度向上と拠点地域内外の多世代や障がい者など多様な主体による交流の創出

<取組の概要>

- ・共生のまちづくりに関連する部署の連携による意識啓発
- ・地域住民の国際理解や在住外国人にとって住みやすいまちづくりの推進
- ・生涯活躍のまち拠点地域の市民周知と来訪者増に向けた交流事業等の推進

事務事業	成果指標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
生涯活躍のまち推進事業	「生涯活躍のまち推進事業」拠点地域を訪れた人数	113,675 人			
	事業費	6,875 千円	千円	千円	